



宮沢由美とトルカ・タンゴ・オルケスタ

ピアノ:宮沢由美 バイオリン:永野亜希、専光秀紀、柴田奈穂  
バンドネオン:池田達則 コントラバス:田中伸司

# アルゼンチン・タンゴ コンサート ~世界のタンゴ~ Vol.67

2025年10月28日(火) 13時30分開演 (13時00分開場)

会場 横浜みなとみらいホール 小ホール

横浜市西区みなとみらい 2-3-6 電話:045-682-2020

最寄り駅:みなとみらい駅(東急東横線直通/みなとみらい線)下車、「クイーンズスクエア横浜連絡口」より徒歩3分

予定プログラム (曲目は変更になる場合もございます。予めご了承ください)

エル・チョコロ、夜のタンゴ、ジェラシー  
アディオス・ノニーノ、私はマリア  
パジャドーラ、ラ・クンパルシータ ほか

料金 全席指定 6,000円(税込) ※未就学児入場不可

※ユース割引 (公演当日に40歳未満の方は受付にて1,000円  
キャッシュバックいたします。生年月日のわかる  
公的身分証をご提示ください)

プレイガイド

横浜みなとみらいホールチケットセンター  
045-682-2000

チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/tango251028> (Pコード:303-435)

ローソンチケット <https://l-tike.com/tango251028> (Lコード:74498)

イープラス <https://eplus.jp/tango251028>

カンフェティ <http://confetti-web.com/@/tango251028>  
050-3092-0051(平日 10:00~17:00)



小島りち子(歌)

主催 株式会社 インターナショナル・カルチャー

協力 オフィス・さいとう、博品館劇場、東京音楽文化センター、国際アートセンター

後援 アルゼンチン共和国大使館



制作協力 EverQuest

【お問い合わせ】 インターナショナル・カルチャー TEL:03-3402-2171 (平日 11:00~16:00)



# TORQUA TANGO ORQUESTA トルカ・タンゴ・オルケスタ

ピアニスト・宮沢由美の呼びかけにより、日本のタンゴ界を代表する奏者たちが集結。6名のメンバーによる本格アルゼンチンタンゴ楽団。  
ダリエンソの力強く躍動するスタイルから、プグリエーセの詩的でドラマティックな表現まで、各メンバーの個性が響き合い、緻密でエネルギッシュなアンサンブルを生み出す。レパートリーは古典から現代まで多岐にわたり、タンゴの深層を描き出す。



**宮沢由美 (ピアノ)**  
神奈川県横浜市出身。国立音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。1999年、日本タンゴ界の巨匠・西塔祐三氏に見出され「西塔祐三とオルケスタ・ティピカ・パンパ」のメンバーとして活動を開始。2003年、西塔氏の勧めにより「チコス・デ・パンパ」を結成。2012年、2014年に菅原洋一氏と共演し「世界のタンゴ」コンサートシリーズを開始。著名歌手を迎え都内近郊で定期公演を行う。ダリエンソ・スタイルのピアニストとして定評がある一方、2021年には、アストル・ピアソラ生誕100周年記念 歌劇「ブエノスアイレスのマリア」(柴田奈穂プロデュース)に抜擢される。これを機に活動の幅をさらに広げる。2022年、ダニエル・ウルキーシャ氏演出による舞台「Todo o Nada」の音楽監督・ピアニストを務める。2023年「トルカ・タンゴ・オルケスタ」を結成。2024年3月に「アルゼンチンタンゴとフォルクローレの饗宴Vol.1」を東京で開催。  
2025年1月、アルゼンチンで行われた中南米最大のフォルクローレ祭「COSQUIN 2025 - 65° Festival Nacional de Folklore」に日本代表として出演し、現地で大きな反響を呼んだ。



**永野亜希 (バイオリン)**  
8才からヴァイオリンを始め、これまでに保井頌子、清水高師、ミシェル・オークレール、石川静の各師に師事。1998年、ボストンのニューイングランド音楽ディプロマコース修了。在学中の94、95年レナード・バーンスタイン提唱PMF(パシフィック・ミュージック・フェスティバル)に参加。96年、ドイツで開催されたセレスヴィヒ・ホルシュタイン・ミュージック・フェスティバルに奨学金を得て参加。ドイツ、オランダの各地で演奏する。2001年タンゴの師である西塔祐三氏に出会い、日本で随一のダリエンソ・スタイルを継承するタンゴ楽団「オルケスタ・ティピカ・パンパ」のメンバーとなる。07年より第1バイオリン奏者を務める。03年からは同楽団のメンバーから成る四重奏団「チコス・デ・パンパ」のメンバーとなる。  
現在「トルカ・タンゴ・オルケスタ」を中心に演奏活動を行う。



**専光秀紀 (バイオリン)**  
3歳からヴァイオリンを始める。東京音楽大学卒。クラシックを三本克郎、篠崎功子に師事。大学在学中より、小松亮太オルケスタティピカツアーに参加し音楽活動を開始。タンゴの世界に深く傾倒する。2012年アルゼンチンに渡りアリエル・エスパンドリオ、ガブリエル・リーバスパプロ・アグリに師事、日本では数の少ないコルネットヴァイオリンも演奏する。  
現在、メンターオ、小松真知子タンゴクリスタル、様々なタンゴ楽団で活躍中。



**柴田奈穂 (バイオリン)**  
6歳よりバイオリンを始める。2006年ごろから度々ブエノスアイレスを訪れ、スアレ・パス氏に師事するなど研鑽を積む。現在「LAST TANGO」主宰。同バンドでこれまでにブエノスアイレス録音含む2枚のアルバムをリリース。2019年同バンドで全国14ヶ所のホールツアーの演奏をつとめる。また、ピアニストニコラス・ゲルシュベルグ氏とのデュオを核にした「Bs.As. Tokyo Connection」など。2021年、「Tango Querido」を立ち上げ、アジア圏で初めてオペラ形式で上演された歌劇「ブエノスアイレスのマリア」をプロデュース、音楽監督をつとめ、高い評価を得る。その他映画音楽(2015年「この国の空」2019年キネマ旬報グランプリ作品「火口のふたり」など)も手がけている。



**池田達則 (バンドネオン)**  
16歳でバンドネオンを始め『オルケスタティピカ東京』の岡本昭氏にバンドネオンを師事する。洗足学園音楽大学に入学し大学在学中に初めてアルゼンチンへ渡り、フリオ・デ・カロ楽団やオスバルド・フレセド楽団に在籍していたマルコス・マドリガル氏に師事する。卒業後様々なミュージシャンと共演し続け2010年にコロールタンゴのロベルト・アルバレスに師事し、2012年コロールタンゴで演奏する。  
現在も「Mentao」のリーダーとして活動中。



**田中伸司 (コントラバス)**  
国立音楽大学卒業。82年より演奏活動を開始。90年以降はスタジオワーク中心に活動。一方、91年にアルゼンチン・タンゴに傾倒、名手H.カバルコスの薫陶を受け、志賀清、京谷弘司の各グループを経て09年より小松亮太の各ユニットに参加。徳永二男、篠崎史紀、須川展也、国府弘子、大貫妙子、O.モンテス、J.コランジェロ、J.J.モサリーニ、P.エスティガリビアらと共演。09年トリオ・セレステ結成。今なおタンゴの奥義を追求中。



**小島 りち子 (うた)**  
宮城県出身。国立音楽大学同大学院リート科(フランス歌曲専攻)修了。タンゴ(ピアソラ)に出会うまでは、メゾソプラノとして、オペラ(カルメン他)ミュージカル(サウンドオブミュージック他)オペレッタ、フランス歌曲、その他第九やメサイア等のソリストとして活躍。サイトウ・キネンフェスティバルにオペラシンガーズの一員として、ワーグナー『さまよえるオランダ人』ヴェルディ『レクイエム』ヴェルディ『ファルス・タッフ』等に出演。文化庁主催『文化芸術による子供育成総合事業』では、『カルメン』カルメン役で全国各地で公演。タンゴに魅せられて  
ピアソラから歌い始めたが、今はタンゴ全般をレパートリーとしている。京谷弘司とクアルテートタンゴ、小松真知子タンゴクリスタル、チコスデパンパ等多くの楽団のヴォーカルを務める。『ピアソラを歌う』と題して、ソロリサイタル開催(03、04)。東京春祭『昼下がりのタンゴ』、東京タンゴ祭等、タンゴコンサートに数多く出演。2021年、ピアソラの大作『ブエノスアイレスのマリア』マリア役で、オペラ形式日本初演に出演。2022年、長野市芸術館メインホールにて、黒木岩寿プロデュースラ・ストラヴァガンツァ東京『ブエノスアイレスのマリア』(演奏会形式)(日本語ナレーション)マリア役で出演。